

人事給与システム刷新

ヨークベニマル 管理業務を効率化

セブン&アイ・ホールディングス(HD)の事業会社のヨークベニマル(福島県郡山市、大高善興社長、024・924・3111)は、電通国際情報サービス(ISID)の協力を得て、人事給与システムを刷新した。同HD傘下のヨークベニマルとの事業統合の一環で、ISIDの人事給与パッケージソフトを利用し、ヨークベニマルと子会社のライフフーズ、ヨークマートの人事給与システムを統合した。管理部門の業務を効率化するにも、従業員の人事データをともに適性に合わせた配置を進める。ヨークベニマルは東北や北関東に食品スーパー(SM)167店舗、ヨークマートは首都圏に同65店舗展開している。ヨークベニマルはSM事業の強化に向けてヨークマートとの事業統合を進めており、新システムの稼働で3社の人事管理業務をヨークベニマルに集約

した。合わせて約4万人の従業員を管理する。ISIDの同ソフト「ポジティブ」の導入により、全従業員の給与を10分以内で計算可能。人事などの制度が各社で異なるが、データを一元管理する。従業員の適性やスキルなどのデータを蓄積することで、「適材適所の配置にもつなげられる」(ISID)としている。

ISIDは今回、同HDと取引実績を持つ野村総合研究所(NRI)との協業でポジティブの導入プロジェクトを展開。人事給与システムとNRIが構築した就業管理システムとのデータ連携も可能にした。ポジティブがグループ会社を多く持つ大手企業の経営に対応するため、今回の導入実績も生かして、「経営統合やグループ再編の際のシステム刷新ニーズを取り込む」(同)ことを狙う。